

会議の名称	第1回茅野市総合計画審議会		
開催日時	令和3年12月20日(月) 19時00分～20時30分		
開催場所	茅野市役所 8階 大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
市長	○議事		
	1 開会		
	2 委嘱書交付		
	3 市長挨拶		
	4 委員・事務局自己紹介		
	5 正副会長の選出		
	6 正副会長挨拶		
	7 報告事項		
	(1) 総合計画審議会の役割について 資料1		
	(2) 第5次茅野市総合計画の位置付け、構成等について		
(3) 第5次茅野市総合計画の進捗状況等について 資料2			
8 その他			
(1) 次回会議日程について			
9 閉会			
事務局	○議事録		
	1 開会		
	2 委嘱書交付		
	=委員名簿順に市長より委嘱書の交付=		
	3 市長挨拶		
	当審議会での最上位計画である総合計画の進捗状況等を管理していただくが、第5次総合計画の10年の計画期間のうち、令和4年度に前期5年を終了となるため、令和5年度から始まる後期計画についても議論していただくことになる。		
	現在、新型コロナウイルスの影響を受け、種まきをしているが実際に動くことができない状況が続いており、進捗管理にも影響を及ぼしている。		
	コロナ後の社会のあり方が大きく変わる可能性も踏まえ、今後の計画等のあり方について、忌憚のないご意見をいただきたい。		
	2年間の任期となるが、よろしくお願ひしたい。		
	4 委員・事務局自己紹介		
5 正副会長の選出			
委員が新しくなって初回の会議のため、互選による正副会長の選出をお願ひしたい。			

委員	<p>会長、副会長について立候補はいるか。 ＝挙手なし＝</p> <p>その他選出方法についてご意見は。</p> <p>事務局に案はあるか。</p>
事務局	<p>第5次総合計画の策定及び進行管理にあたり、正副会長として関わっていただいた矢崎委員に会長、同じく高村委員に副会長を引き続きお願いしたいと考える。</p> <p>ただいま事務局からの提案に合意いただける方は拍手願いたい。 ＝一同拍手＝</p> <p>正副会長は、それぞれ席を移動願いたい。 ＝矢崎会長、高村副会長移動＝</p>
会長	<p>6 正副会長挨拶</p> <p>第5次総合計画の策定に引き続いて、会長として携わらせていただく。ご協力をよろしく願いたい。</p> <p>コロナ禍により、個人や団体との交流が減り、リモートワークやオンライン会議の増加、葬儀や結婚式の簡略化、隣組活動の減少といった生活様式の変化が起きた。また、開発的な発想から持続可能な社会への変化や大きな自然災害も発生した。この様々な変化の中で、新たな取り組みが必要であり、計画の位置付けも新たに考えなければいけない。皆様の力を借り、第5次総合計画に命を吹き込みたい。</p>
副会長	<p>引き続き副会長を仰せつかった。よろしく願いたい。</p> <p>会長がおっしゃったことは、正にその通りだと思うが、自分自身が生きている内にこんな世界が来るとは思ってもいなかった。今まで考えてきた計画から大きく視点を変えて、新たなものを作っていかなければいけないところまで来ている。皆さんの多くの知恵を集めて、進めて行きたい。</p>
事務局	<p>7 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会の公開について <p>茅野市では「審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき、会議内容は原則公開している。また、当審議会ではこれまで、委員名を伏したうえで議事録をホームページへ掲載している。</p>
会長	<p>従前にならい、審議会の内容は公開とし、議事録はホームページへ掲載していく事でよいか。</p> <p>＝異議なしの声有り＝</p>
事務局	<p>(1) 総合計画審議会の役割について 資料1</p> <p>(2) 第5次茅野市総合計画の位置付け、構成等について</p> <p>(3) 第5次茅野市総合計画の進捗状況等について 資料2</p>

<p>会長</p>	<p>・・・資料1、総合計画概要版及び資料2に基づき一括説明・・・</p> <p>事務局から、総合計画の基本構想及び基本計画の今後の検討課題について説明があったが、新しい委員もいるため、補足説明をさせていただきたい。</p> <p>本審議会の役割は、進行管理をすることと10年計画の折り返し地点において後期計画を見直す必要があるかどうかを検討することにある。私が基本構想を説明するときに、八ヶ岳を中心とした自然と縄文から脈々と続く歴史に包み込まれる形でヒトや匠の技が存在し、それを一体的にかみしめることで活力や優しさが生まれるという表現を用いることがあるが、基本構想の考え方について、もう一度かみしめてみる必要があると考えている。</p> <p>また、基本構想の下に分野別計画がセットされ、行政と市民が協働で計画を遂行しているが、思いもかけなかったコロナ禍の影響があり、イベント等が開催できずに進捗状況が悪くなった分野がある。その一方で地道に計画を遂行できた分野もある。</p> <p>第5次総合計画策定時にはなかったデジタル化や脱炭素社会の考え方は、これからの市民生活を送る上で必要不可欠になる。これを踏まえた見直しをする必要があると考えているが、皆様のご意見をお聞きしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今の話に関連しないかもしれないが、第5次総合計画の冊子に2018年から2020年の3年間の経過について記載されていないのは何か理由があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>冊子に記載されているのは策定時点の内容であるため、策定後の経過は記載されていない。策定後は進行管理を当審議会で行い、結果を市のホームページに掲載している。</p>
<p>委員</p>	<p>政策横断プロジェクトの位置付けやこのプロジェクトがどういう立場で進捗管理や審議をすれば良いかについて教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>政策横断プロジェクトは、基本計画や分野別計画の推進を下支えするためのものという位置付けをしている。</p>
<p>委員</p>	<p>縄文プロジェクトが作った事業計画を、各分野の計画の中に織り込んでもらうことは出来るのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そういった視点を織り込むかどうかを議論しながら、基本計画を策定することになる。</p>
<p>委員</p>	<p>各分野の計画を策定するためのそれぞれの協議の場に足を運ぶことになるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そこまでは求めていない。</p>
<p>委員</p>	<p>どこまでを求めるのか。立ち位置が分からない。</p>

事務局	<p>第5次総合計画の作りが分かりにくいというご指摘もありましたので、これからの総合計画をどういう形にするべきなのかというところから議論をスタートさせていただきたいと考えている。</p> <p>また、現在の枠組みに捕らわれない形の案を事務局からお示しさせていただくことを考えているため、その時点でご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>23人の委員に期待されている役目や立ち位置を明確にさせていただくと良いと考えている。</p>
事務局	<p>基本構想の部分を全員で協議をいただくことになる。その上で、構想を実現するための基本計画を策定する段階では、各分野で協議をいただいて、作っていくというイメージになる。今まで基本計画については各分野で作ったものをカートリッジ式にはめ込む形を取っていたが、この形を変更するのかどうかについても協議をしていただきたいと考えている。</p>
会長	<p>私たちを取り巻く環境が大きく変わっている中で見直しが必要かどうかについて、どنگりネットワークの委員に意見をいただきたい。</p>
委員	<p>子育て教育分野では、夢のある子どもを育てるという視点で考えてきたが、市民としての視点を持つことや主体的に自らが考えることが必要になってきている。</p> <p>ICT教育は、単にデジタル技術を用いるのではなく、活用することで今まで以上に考える力を育て、結果としてまちづくりに繋がっていくという形が好ましい。</p> <p>自分たちが幸せになることも重要だが、自分たちが幸せになるために世の中も幸せにするという気持ちを持つことが必要。</p> <p>また、茅野市に愛着を持ってもらう部分が足りていないのではないかという議論もあるため、その点についても考えていきたい。</p> <p>コロナ禍の2年間で今まで気づかなかった部分で見えてきた。その部分も総括しながら考えていくことが必要だと考えている。</p>
会長	<p>コロナ禍によって非常に大きな影響を受けている保健医療福祉分野からも意見をいただきたい。</p>
委員	<p>コロナ禍以降、保健医療福祉分野において考えていなかった課題が次々に出てきているが、分野別計画に掲載されていないからといって、手をこまねいているわけではなく、対策をしてきている。だが、総合計画に反映させるためには、新たな方向で見直す必要がある。それは他分野にも言えることで、見直しは必須だと考えている。</p> <p>ただ、この先の状況を予想することは難しいため、毎年見直すのかどうかということや見直しの時期はいつが妥当なのかということについては議論をする必要があると考えている。</p>
会長	<p>茅野市は昔から住んでいる市民、移住をしてきた市民、別荘や観光で訪れる市民という3つの市民が交流をしてきたという経緯があるが、コロナ禍によってグリーンヒルズヴィレッジの売れ行きが好調になっている。その観点から委員に意見をいただきたい。</p>

委員	<p>確かに売れ行きは好調だが、商売上、茅野市に馴染むことが難しいと思われる方々にも土地を買っていただくこともある。本来は豊かな自然という部分だけではなく、パートナーシップのまちづくりや福祉21といった茅野市が持っている良い部分や培ってきた文化に共鳴してくれる方々に移住をしてもらうことが必要だと考えている。</p>
会長	<p>今、財政面に非常に負担が掛かっているが、その観点から委員に意見をいただきたい。</p>
委員	<p>行財政審議会では基金の取り崩しに頼っていること、人口減少に伴って税収が減少していること、担い手が不足していること等、様々な課題が出ている状況である。</p> <p>総合計画についても、抜本的に見直して、多くの施策があるところは一つに集中させることが必要だろう。一般企業においては計画を策定しても、社会情勢が大きく変わったら、すぐに見直すことが基本となる。見直しの時期が来ているのであれば、すぐにも対応すべきだと考える。</p>
会長	<p>総合計画はあらゆる分野に施策を入れていく形のため、総花的ではあるが、きめ細かな計画になっている。ただ、日本経済が徐々にやせ細り、地方経済も厳しい状態の中で、すべて今まで通りにできるかどうかについては疑問に思っている。それを踏まえて、見直しを実施する方向で、今後当審議会を開催していきたいと考えている。</p> <p>他にご意見ご質問はあるか。</p>
委員	<p>今後DXを推進していくことになると思うが、デジタル技術だけでは解決できない部分もある。アナログで解決できる課題もあると考えているので、デジタルに一本化するのではなく両方をうまく活用し、誰も取り残さないようにするというスタンスで総合計画の見直しをしたいと考えている。</p>
副市長	<p>委員からDXについての話があったが、各分野の計画をDXの視点とそれ以外の視点から見直すことになる。また、ゼロカーボンの視点も各分野の計画にどう入れていくのか検討する必要がある。その結果として、政策横断プロジェクトだけではなくそれぞれの計画が関わり合っていくことになるため、審議会でもテーマごとに意見を出していただき、その意見を落とし込む形で総合計画を整理していけば良いと考えている。</p>
事務局	<p>8 その他</p> <p>(1) 次回会議日程について</p> <p>第2回の審議会は来年2月上旬を予定している。次回は見直しの方向性について協議をお願いしたい。</p>
副会長	<p>9 閉会</p> <p>コロナ禍によって今まで見えなかった問題が出てきたが、活路が見出せることを信じている。広い視野を持って、審議会を進めて行きたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>